



## 伊東市「ゼロカーボンシティ」宣言

地球温暖化は、人類の生存基盤に関わる安全保障の問題と認識されており、最も重要な環境問題の一つとされています。既に世界的にも平均気温の上昇、雪氷の融解、海面水位の上昇などが観測されています。今後、地球温暖化の進行に伴い、猛暑や豪雨など異常気象のリスクはさらに高まることが予測されています。

2015年に採択されたパリ協定では、「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること」を掲げ、2018年に公表されたIPCCの「1.5℃特別報告書」によると、世界全体の平均気温の上昇を1.5℃の水準に抑えるためには、二酸化炭素排出量を2050年頃に正味ゼロとすることが必要とされています。

2020年10月、国は2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロ（2050年カーボンニュートラル）とする「脱炭素社会の実現」を目指すことを宣言しました。

伊東市においても、第三次伊東市環境基本計画及び伊東市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づき、伊東市が望ましい環境像として掲げる「良好な環境が広がり快適に暮らせるまち」の実現と、2050年までに温室効果ガスの大部分を占める二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、市民、事業者及び滞在者の皆様と一丸となって全力で取り組んでいくことを、宣言いたします。

令和5年3月

伊 東 市 長 小 野 達 也